

全国高校サッカー
 青森県大会2次予選
 第102回全国高校サッカー選手権青森県大会2次予選最終日は5日、青森市カクヒロクロープアスレチックスタジアムで、決した。青森山田は12月28日、来年1月8日に国立競技場などで行われる全国大会に出場する。組み合わせ抽選会は今月20日に実施される。

(取材班)
 ▼決勝 青森山田 9700 八学野西 210
 ▼得点 山本、若田、米谷、後藤、川原、松本(青) ▼補正 杉本、川原、後藤、齋藤、別府(青)

【評】青森山田が王者の格を見せつけた。GK鈴木が序盤のピンチを好セーブでしのぐと、右コーナーキックからDF山本が頭で合わせて先制。その後両サイドから切り崩し、前半にFW米谷のハットトリックを含む7点を奪い、試合に決着をつけた。

【青森山田】後半、ボール前で競り合う八学野西の高木和(左から)入目



八学野西、好機生かせず

○7年連続で決勝に進んだ八学野西だったが、またも青森山田の高い壁にはね返された。チャンスはつくれどゴールをこじ開けるには至らず、逆に逃した直後に失点するなど、終わってみれば大量9失点。高木和主将(階上町出身)は「早い時間でやられてしまった。もっと粘り強く守りたかった」と涙をこぼした。前半4分には右サイドからのクロスにゴール前で混戦となったが、相手GKのファインセーブ。2点を奪われた後にも成田涼雅がダブルで突破してGKと1対1になったが、またも阻まれた。三上監督は「こちらでも決まっていれば、展開は変わったかもしれない。ただ、そのすぐ後にゴールを決める辺りに、相手の総合力の高さ、すごさを感じた」と脱帽した。またも届かなかった、全国の舞台、涙に暮れる先輩たちの姿を見た堀田一希(三沢市出身)は「全国トップレベルのフィジカルやスピードを誇る相手に負けないよう、練習で突き詰めていく」と、雪辱を誓った。